

表題

()組()番 名前()

(1)公式 $\log_a b = \frac{\log_c b}{\log_c a}$ を導け。ただし、 $a, b, c > 0$ かつ $a, b, c \neq 1$ とする。

(2)数列 $\{a_k\}$ を、 $a_{k+1} = a_k + 1$ $a_1 = \alpha$ ($\alpha > 0$ 、 $\alpha \neq 1$) で定義し、数列 $\{b_n\}$ を
 $b_n = (\log_{a_1} a_2) \times (\log_{a_2} a_3) \times (\log_{a_3} a_4) \times \dots \times (\log_{a_n} a_{(n+1)})$ ($n \geq 1$) で定義する。

(a) $\alpha = 2$ のとき、 b_2 を求めよ。

(b) $b_1 = 2$ のとき、 α を求めよ。

(c) α を2以上の自然数に限定する。 $b_n = 3$ かつ $n \leq 100$ を満たす自然数 (α, n) の組を全て求めよ。

(3)関数 $f(x) = \log_x(x+1)$ は、 $x > 1$ で単調減少することを示せ。

(4) $\log_{26} 27$ と $\sqrt[24]{3}$ はどちらが大きいか?理由をつけて答えよ。

解説

解答

(1)

$\log_a b = P$ 、 $\log_c a = Q$ 、 $\log_c b = R$ と置く。このとき、 $P = \frac{R}{Q}$ を示せばよい。

対数の定義から、 $a^P = b$... $c^Q = a$... $c^R = b$...

、より、 $a^P = c^R$...

に を代入して、 $(c^Q)^P = c^R$ から、 $c^{QP} = c^R$

よって、 $QP = R$ であるから、 $P = \frac{R}{Q}$ が示された。 終

別解

$b = c^x$ と置くと、 $x = \log_b c$... ,

また、 $\log_a b = \log_a c^x \Leftrightarrow \log_a b = x \log_a c \Leftrightarrow x = \frac{\log_a b}{\log_a c}$... ,

、 'より、 $\log_a b = \frac{\log_c b}{\log_c a}$ 終

(2)(a)

$a_1 = 2$ より、 $a_2 = a_1 + 1 = 3$ 、 $a_3 = a_2 + 1 = 4$

よって、 $b_2 = (\log_{a_1} a_2) \times (\log_{a_2} a_3) = \log_2 3 \times \log_3 4 = \log_2 3 \times \frac{\log_2 4}{\log_2 3} = \log_2 4 = 2$ 答

(b)

$a_1 = \alpha$ のとき、 $a_2 = a_1 + 1 = \alpha + 1$ より、

$b_1 = (\log_{a_1} a_2) = \log_\alpha(\alpha + 1) = 2 \Leftrightarrow \alpha^2 = \alpha + 1$

これを解いて、 $\alpha = \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$ ここで、 $\alpha > 0$ から、 $\alpha = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$ 答

(c)

表題

()組()番 名前()

(1)の公式を繰り返し使うと、

$$(\log_{a_1} a_2) \times (\log_{a_2} a_3) \times (\log_{a_3} a_4) \times \dots \times (\log_{a_n} a_{(n+1)}) =$$

$$(\log_{a_1} a_2) \times \left(\frac{\log_{a_1} a_3}{\log_{a_1} a_2}\right) \times \left(\frac{\log_{a_1} a_4}{\log_{a_1} a_3}\right) \times \dots \times \left(\frac{\log_{a_1} a_{(n+1)}}{\log_{a_1} a_n}\right) =$$

$\log_{a_1} a_{(n+1)}$ となるから、

$b_n = \log_{a_1} a_{(n+1)}$ である。...

漸化式、 $a_{k+1} = a_k + 1$ $a_1 = \alpha$ を解くと、 $a_n = (n-1) + \alpha$ より、

$$a_{(n+1)} = n + \alpha \quad \dots$$

、 から、 $b_n = \log_{\alpha}(n + \alpha)$

求める条件は、 $b_n = 3$ より、 $\log_{\alpha}(n + \alpha) = 3 \Leftrightarrow \alpha^3 = n + \alpha$

ここで、 α は2以上の自然数であり、条件 $n \leq 100$ も考慮して、以下の場合を考えていく。

[ア] $\alpha = 2$ のとき、

$$2^3 = n + 2 \quad \text{から、} \quad n = 6$$

[イ] $\alpha = 3$ のとき、

$$3^3 = n + 3 \quad \text{から、} \quad n = 24$$

[ウ] $\alpha = 4$ のとき、

$$4^3 = n + 4 \quad \text{から、} \quad n = 60$$

[エ] $\alpha \geq 5$ のとき、

$n > 100$ となり、条件 $n \leq 100$ に不適。

[ア]~[エ]より、求める自然数の組は、 $(\alpha, n) = (2, 6) (3, 24) (4, 60)$ の3組 〇

(3)

$f(x) = \frac{\log(x+1)}{\log x}$ から、

$$f'(x) = \frac{\frac{\log x}{x+1} - \frac{\log(x+1)}{x}}{(\log x)^2} = \frac{x \log x - (x+1) \log(x+1)}{x(x+1)(\log x)^2}$$

$x > 1$ で、 $x(x+1)(\log x)^2 > 0$ また、 $x \log x$ は単調増加するので、

$$x \log x - (x+1) \log(x+1) < 0$$

よって、 $f'(x) < 0$ ゆえに、 $f(x) = \log_x(x+1)$ は、 $x > 1$ で単調減少する。 〇

注意 微分公式 $(\log_a x)' = \frac{1}{x \log a}$ は、 a が定数でなければ使えないことに注意。

この場合は、 $\frac{\log(x+1)}{\log x}$ としてからでないと微分できない。

(4)

表題

()組()番 名前()

(2)(c)でやったことと同じように計算すると、

$$\log_3 4 \times \log_4 5 \times \log_5 6 \times \dots \times \log_{26} 27 = \log_3 27 = 3 \dots$$

また、(3)から、

$$\log_3 4 > \log_4 5 > \log_5 6 > \dots > \log_{26} 27$$

よって、

$$\log_3 4 \times \log_4 5 \times \log_5 6 \times \dots \times \log_{26} 27 >$$

$$\log_{26} 27 \times \log_{26} 27 \times \log_{26} 27 \times \dots \times \log_{26} 27 =$$

$$(\log_{26} 27)^{24} \dots$$

$$、 \text{ から、 } 3 > (\log_{26} 27)^{24}$$

両辺 $\frac{1}{24}$ 乗して、

$${}^{24}\sqrt{3} > \log_{26} 27$$

ゆえに、 ${}^{24}\sqrt{3}$ が大きい。 答

〔参考〕(4)はそのまま計算できない。(2)で求めた、 $(\alpha, n) = (3, 24)$ の場合の式と、(3)を利用して計算する。